



7月15日(土) 18時から

カードを用いた シリアスゲームを 体験してみよう！

出演&進行 上原龍 下川修二 上田昌文

シリアスゲーム (Serious game) とは、エンターテインメント性の追求を目的とするゲームとは違って、防災や教育や医療などの現場での活用をも視野に入れた、社会問題の解決に役立つことを主目的とするゲームです。市民科学研究室ではすでに「生活習慣病対策ゲーム ネゴバト」を開発し、数多くの体験の機会を設けてきましたが、今年から正式な販売が始まり、より多くの利用が見込まれています。

今回の十一人劇場では、上原さん、下川さんがそれぞれ独自に開発された「帰納ゲームさあどうする？」ならびに「クロスロード～組織のリーダー・メンバー編～」をご紹介いただくとともに、参加者に「ネゴバト」もあわせて3種類のカードゲームを体験していただきます。シリアスゲームの意義、面白さ、可能性を一緒に考える、貴重な機会になると思います。

「帰納ゲーム さあどうする？」

科学、技術、社会的常識、個人の価値観等に関連するゲームです。帰納的思考と対話を誘発するための単純なフレームゲームを用います。フレーム(手続き)だけは固定で、テーマについては、いろいろと切り替えることが可能です。私が今までに実施してきたテーマには、食品安全、防災減災、環境・エネルギー、健康医療があります。新たなご知見をいただくことで、他のテーマに拡張することも可能と考えています。(上原)

「クロスロード ～組織のリーダー・メンバー編～」

「クロスロード」は、文部科学省大都市大震災軽減化特別プロジェクトの一環として開発された研究成果物です。クロスロード ～組織のリーダー・メンバー編～は、その手法を踏襲しています。組織の中で直面し得る葛藤場面(ジレンマ)を描いた問題カードを読み、二者択一の岐路の上で、参加者同士が選択の理由・課題を対話するシリアスゲームです。ビジネス活動の設計やマネジメントに必要な力を身につけることなど、いろいろな目的を持って組み立てることができるプログラムです。(下川)

「生活習慣病対策ゲーム ネゴバト」

市民研ホームページの特設サイト(トップページ右側バナー)をご覧ください。動画も掲載しています。

十一人劇場

から
こちら

十一人劇場

から
こちら